

4月1日から

水道料金を改定します

市は、水道事業の健全な経営と適正な維持管理を行うため、4月1日から水道料金を引き上げます。
引き続き安全・安心なおいしい水を皆さんにお届けするため、さらなるコスト縮減と経営の効率化に努めていきますので、ご理解とご協力をお願いします。

問い合わせ 上下水道営業課
☎(55)2845 国(53)2745
✉ joungeigyuu@div.city.fuji.shizuoka.jp

水道料金改定の経緯

水道事業を取り巻く状況

富士市の水道事業は、富士山の恵みである豊富な地下水を利用し、安く安全・安心なおいしい水を皆さんに提供してきました。

全国の多くの自治体では、川やダムの水を安全な飲料水にするために多額の費用をかけていますが、富士市は、地下水を利用していただので最小限の費用で済んでいます。また、前回（平成9年）の料金改定からこれまでに、職員削減や業務の外部委託などの経費削減に努め、全国でも安い料金を維持してきました。

しかし、近年は、節水機器の普及や人口の減少などにより、水道料金の収入が年々減少しています。これは富士市だけでなく全国的な現象で、今後も

続くと思われる。

一方、地下水をくみ上げるための電気料は、東日本大震災以降、年々値上がりし、また水道工事費用も増加しています。

このような状況のもとで、平成28～32年度の5年間の収支予測を行ったところ、現在の料金を据え置いたまま事業を行った場合、**毎年度赤字**となる見込みになりました。

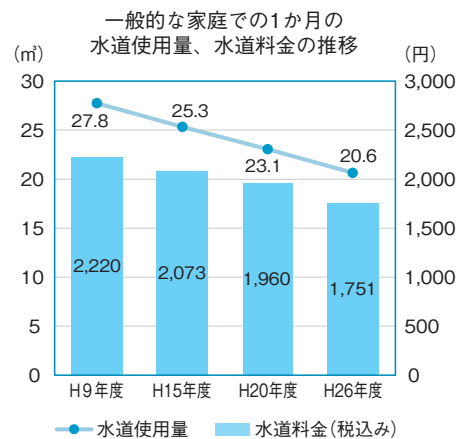
このままでは、突発的な自然災害への対応や高度経済成長期に設置した古い水道管の取りかえ、大規模地震に備えた配水タンクや水道管の耐震化を行う資金が不足してしまいます。

水道料金の改定

こうした事態を避けるため、「富士市水道事業及び公共下水道事業経営審議会」で審議した結果、「各種事業の必要性、経営状況から判断すると、水

家庭の水道料金の移り変わり

平成9年度当時、一般家庭の水道の利用は、平均すると1か月に27.8㎡、料金は2,220円でした。その後、水の使用が減り、平成26年度には平均20.6㎡、1,751円となりました。この17年間で使用する水の量は約7㎡、料金は469円減りました。



道料金を、平成28年度からの5年間の平均で31・92パーセント引き上げることが妥当である」との答申を得ました。この答申をもとにした料金改定案が昨年11月の定例市議会で可決され、平成28年4月1日から料金改定をすることになりました。

今後の主な事業

平成28～32年度の主な事業の費用は、約70億円を見込んでいます。

水道施設の整備 22億1262万円

①配水池の整備
水源地から直接各家庭に供給している地域の被災時におけるリスク解消のため、新たな配水池を整備します。

②施設の統廃合

新たに水源を設け、供給区域を改善することで施設の統廃合を行い、維持管理費及び電気料の削減を図ります。

新

しい料金はいくらになるの？

下水道使用料の改定はありません。



1か月当たりの水道料金表(支払いは2か月分)

(税込み)

- ※口径とは水道メーターの口径のことです。
- ※口径30mm以上は、市ウェブサイトをごらんください。
- ※水道の検針(使用水量の調査)は、2か月に1回行っていきます。料金は、使用水量を2で割り(余りは検針月に加えます)、それぞれの月分を計算しています。
- ※1か月当たりの料金は、①基本料金と②従量料金の合計です。
- ※合計額の1円未満は切り捨てます。

①基本料金 (口径による月ごとの定額料金)	口径	旧料金	新料金
	13mm	648円	961円20銭
	20mm	1,026円	1,533円60銭
	25mm	1,447円20銭	2,181円60銭
②従量料金 (月ごとの使用水量に応じた料金) ※口径25mm以下の場合	使用水量	旧料金	新料金
		1m ³ につき	
	10m ³ まで	0円(基本料金内)	
	11~20m ³	64円80銭	86円40銭
	21~50m ³	86円40銭	102円60銭
	51~100m ³	102円60銭	118円80銭
	101m ³ ~	118円80銭	129円60銭

1か月当たりの水道料金の比較(支払いは2か月分)

(税込み)

	使用水量	旧料金	新料金	引き上げ額
口径 13mm	10m ³	648円	961円	313円
	20m ³	1,296円	1,825円	529円
	30m ³	2,160円	2,851円	691円
	40m ³	3,024円	3,877円	853円
	50m ³	3,888円	4,903円	1,015円
口径 20mm	10m ³	1,026円	1,533円	507円
	20m ³	1,674円	2,397円	723円
	30m ³	2,538円	3,423円	885円
	40m ³	3,402円	4,449円	1,047円
	50m ³	4,266円	5,475円	1,209円

富士市の水道料金の全国順位は？

新しい水道料金は、口径13mmで20m³使用した場合、全国の同規模水道事業者の中で14位、県内23市では6位と、引き続き上位になる見込みです。

(税込み)

順位	市など	金額(円)
—	富士市(改定前)	1,296
1	狭山市	1,458
2	秦野市	1,468
⋮	⋮	⋮
13	桑名市	1,814
14	富士市(改定後)	1,825
15	小牧市	1,863
⋮	⋮	⋮
90	帯広市(平均的な料金)	2,754
⋮	⋮	⋮
163	木更津市	4,212
164	山武郡市広域水道企業団	4,228
165	淡路広域水道企業団	4,428

▲全国(富士市と同規模な165の市など)での水道料金順位(平成27年4月1日時点のデータをもとにしています)

平成27年度から引き続き使用する皆さんへ
水道料金が新料金に変わる時期は、地区により異なります。
偶数月に請求される地区:
6月請求分(3月半ば~5月半ばの使用)のうち、4月半ばからの使用分から
奇数月に請求される地区:
7月請求分(4月半ば~6月半ばの使用)から
※どちらの地区も4月半ばまでは、旧料金で計算します。

- ① 水源地のくみ上げ用ポンプ取りかえの際、使用状況に応じた性能の見直しを行い、電気料の削減を図ります。
 - ② 水道管の使用材料を見直して、費用を削減します。
 - ③ 検針と同時に漏水調査を行い、異常を早期に発見・修繕することで、水のくみ上げを最小限にします。
- 料金改定の詳細は、市ウェブサイトでごらんいただけます。
- ※くらしと市政↓大切なお知らせ↓水道料金の改定について

経営改善に向けた取り組み

今後、経営改善のために新たな取り組みを行ってまいります。

- ① 配水設備等の改良 44億1272万円
- ② 老朽管の更新 漏水を防ぐため、古い水道管の取りかえを促進します。
- ③ 施設の耐震化 水源池、配水タンク、水道管などを大規模地震災害に耐えられるよう整備します。
- ④ 簡易水道の統合 3億5310万円 市東部11簡易水道との統合に向けた整備を行います。
- ⑤ 地下水への水源転換 川の水を浄化して供給している地区について、地下水源へ切りかえます。